

平成30年6月定例会 意見書を除く191件可決

2月補正で予算がついた増田中学校校舎大規模改修工事事業費が、今期補正で全額減となりました。事業が国に採択されるの見通しは、採択が見送られたという理由です。30年度補正予算にも計上されておりません。市の見通しの甘さもさることながら、国の財布に頼らざるを得ない地方財政制度そのものに問題があると改めて実感しました。

増田公民館と名取市図書館のオープンが12月19日に決定しました。市の公共施設の駐車場が無料であるのに対し、こちらは完全無料とはならない見込みです。市が管理組合負担金を支出し、さらに利用者から料金を支払う二重の負担をどう捉えるのか、料金体系が公表されるのを待つて市の見解をただしたいと思えます。

閉上公民館と閉上体育館の復旧工事の内容が明らかになりました。県道塩釜亘理線の東側に2階建ての一体型施設として再建されます。1階にはカフェ・ロビーやメディアコーナーを配置し、2階には3つの会議室が入ります。うち1室は子どもや高齢者が交流できる使い方を検討しているとのこと。災害時には屋外階段から直接屋上へ避難することができず。多くの市民に利用され、コミュニケーションの再生に寄与してほしいと思えます。

共産党議員が3年連続で、核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提案しました。一昨年は反対したのは吉田1名だけでしたが、昨年は賛成11反対8と拮抗した経緯があります。常任委員会の審査で、国際情勢が見通せない今の時期に提出するのはいかがかという意見が大勢を占め、本会議において賛成6反対12で否決されました。今後も市民福祉にかなうかどうかを見極めて判断してまいります。

平成30年2月定例会 議会からの修正を含む46件可決

平成30年度一般会計予算（総額355億700万円。前年度比10・1%減）が可決されました。歳入では市税が過去最大の予算額であった前年度から0・8%の増となった一方、歳出では民生費が100億円の増に上り、市の財政は依然として厳しい状況にあります。

名取駅東口に建設が進む再開発ビル内に、震災で被害を受けた名取市図書館と増田公民館が再建されます。新年度予算に再開発ビル北棟と駐車場棟の管理組合に対する負担金、合計約6300万円が計上されました。市が単独で建物を管理する従来のあり方ではなく、区分所有による管理となるため、ほかの権利者がかかることから情報公開が進みにくくなることが懸念されます。討論において、施設管理に市の意思を反映させる機会を確保し、意思決定のプロセスを市民に説明する場を設置するよう求めました。

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の審議において、施設を運営する法人や管理者から暴力団を排除することをより明確にするために、議会側から修正の動議が提出されました。行政側は、原案でも暴力団やその構成員を排除できるとの認識でしたが、採決の結果、修正案が賛成多数で可決されました。議会の提案によって条文が修正されるのは、名取市議会では非常に珍しいことです。

農業委員会委員の任期満了に伴う後任15名全員の任命について、1名ずつ無記名投票で採決を行いました。投票は11時11分に始まり、昼休憩を挟み14時17分まで及びました。執行部は発言も退席もせず、無言で見守るしかなかった。投票方法の見直しは課題であると感じました。

特別職礼遇者制度について

本市では、市長の職にあった者や4年以上市議会議員の職にあった者などを特別職礼遇者として待遇するが、辞退についての規定がない。

▼▼ 質問 ▼▼

該当要件の変更や、廃止を視野に入れた検討を行うべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

社会通念上、一般的に認められる範囲であり、廃止を検討する考えはない。

▼▼ 質問 ▼▼

礼遇を受ける要件に該当した者へ、礼遇者としての待遇の辞退を認めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

辞退の事例はないが、今後辞退の申し出があれば、その意志を尊重したい。

改元に向けた準備について

来年5月1日から新しい元号となる。市役所事務のコンピュータ化がいっそう進んだこともあり、改元による影響が行政や市民からの届け出等、さまざまな分野で生じるのではないかと危惧される。

▼▼ 質問 ▼▼

新元号が発表されたら、和暦西暦早見表を窓口等に設置すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

発表後速やかに、窓口のある全課に設置するよう周知徹底を図る。

▼▼ 質問 ▼▼

改元後も元号を用いることへ市民の理解と協力を求めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

本市では改元後もこれまでどおりの対応としていきたい。

▼▼ 質問 ▼▼

行政文書や住民からの届け出等における年の表示の原則は。

▼▼ 答弁 ▼▼

法的による規定などはないが、慣行として元号を使用している。

市民墓地など3事項を一般質問

区長制度の見直しについて

区長業務である広報などりの配付を自治会等が代行する場合、代行する市民に事故があっても公務災害とはならない。

▼▼ 質問 ▼▼

広報などり配付業務を代行する住民に損害補償を担保すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

地域ごとの取り組みであり、市が損害補償を行うことは困難だ。

▼▼ 質問 ▼▼

事故の際に自治会保険が適用される確認はできているのか。

▼▼ 答弁 ▼▼

そこまでの確認はしていない。

名取市文化会館の施設及び設備の充実について

構造上、車椅子利用の出演者は大ホールまで自力で移動できない。

▼▼ 質問 ▼▼

屋内の空間から大ホール舞台までの経路をバリアフリー化すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

文化会館の南側の外入り口からの平たんな通路を案内している。

▼▼ 質問 ▼▼

大ホール舞台の構造上の問題により、吹奏楽コンクールなどに利用できない。

▼▼ 質問 ▼▼

大ホールの反響板にある出入り口の幅を県内同規模ホール程度に広げるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

大型楽器等を持つての出入りが困難な状況は承知しているが、改善には課題が多い。

▼▼ 質問 ▼▼

本市は吹奏楽が盛んである。地域の文化資源を生かす視点が大切だ。

▼▼ 質問 ▼▼

吹奏楽の楽器を備品として購入し、学校や市民へ貸し出すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

利用頻度や必要性、保管場所を考えると、市民に貸し出すことは難しい。

文化会館など3事項を一般質問

人の終末に関する施策について

合葬墓などの潜在的なニーズは小さくないと思われる。

▼▼ 質問 ▼▼

市民墓地公園に合葬墓の空間を整備すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

他自治体で運営している公営墓地の事例を参考に、調査・研究したい。

▼▼ 質問 ▼▼

新聞の訃報広告は有料だが、市ホームページなら無料でも掲載できる。

▼▼ 質問 ▼▼

市のホームページに訃報情報のページを設けるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

正確な情報を早急に掲載するには事務的負担が多い。慎重に対応したい。

▼▼ 質問 ▼▼

死亡した方に関係する手続きを個人で行うと、多ければ数10種類にも及ぶ。

▼▼ 質問 ▼▼

死亡に関する全ての届け出を受け付けるワンストップサービス窓口の設置を。

▼▼ 答弁 ▼▼

他の申請手続きと同様、専門的な説明ができる現在の対応を継続していく。

▼▼ 質問 ▼▼

単身や所得の少ない高齢者の割合がふえていくことが予想されている。このような方にとって、自らの最後を頼ることができる存在は行政しかない。

▼▼ 質問 ▼▼

子どもや孫への負担を軽くしたいと考える方も利用できるようにすべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

料金を収めた葬儀社が倒産などしたときの対応など、整理すべき課題は多い。

▼▼ 質問 ▼▼

独居高齢者を主な対象とするエンディングサポート事業に取り組むべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

「終活」への相談もある。今後情報収集を行い、調査・研究していきたい。

中学校制服の価格について

成長期の子どもは制服や体操着の買い替えが必要となるケースも多い。

▼▼ 質問 ▼▼

バザーなど制服再利用の取り組みを積極的に支援、紹介すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

今後も再利用できるように、各学校に促していきたい。

▼▼ 質問 ▼▼

昨年11月、公正取引委員会が公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書を発表した。違反とならぬよう留意する必要がある行為も示されている。

▼▼ 質問 ▼▼

留意する必要がある行為について、学校を監督できているのか。

▼▼ 答弁 ▼▼

公正取引委員会が指摘する不適切な形で行われているとは考えていない。

▼▼ 質問 ▼▼

制服メーカー間及び販売店間の競争が有効に機能するよう取り組むべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

新たに制服を選定する場合には、コンペ等による選定を促していきたい。

区長制度の見直し（続き）

自治会組織等が区長を推薦している。区長業務は市内一律である。

▼▼ 質問 ▼▼

総会の議決などの手続を経た自治会組織へ、区長業務を委ねるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

現段階では考えていない。

▼▼ 質問 ▼▼

市は、区内全住民の個人情報リストを区長に自宅で管理させている。

▼▼ 質問 ▼▼

明治から時間がとまっているような情報管理体制は改めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

区長に対するデータの提供の仕方について検討したい。

※会議録は議会ホームページで近日公開

※会議録は議会ホームページで公開中